***「研究開発型ベンチャー支援事業／***

***ベンチャーキャピタル等の認定」に係る公募***

***申請書作成にあたって***

***申請書は、次の項目より構成されます。次ページの「総括的注意」に従って申請書を作成してください。***

***(別添1)　申請書 (表紙、本文)***

***本文***

***項目１：法人の概要***

***項目２：ソーシング能力***

***項目３：ハンズオン能力***

***項目４：資金調達への対応力***

***(別添２)　Tech系シード・アーリー期のスタートアップへのリード投資案件表***

***(別添３)　補助金取得一覧***

***(別添４)　本事業に関与するメンバーの略歴***

***(別添５)　既存資料一覧***

***(既存資料１)　会社定款***

***(既存資料２)　ファンドの目論見書、又は投資の概要説明書等に関する資料***

***(その他既存資料一式)*** ***既存資料３以降の既存資料一式***

***(別添６)　倫理綱領***

***(別添７)　利害関係の確認について***

***（提出にあたって、本ページは削除してください）***

***総括的注意***

注１．申請書の作成にあたっては、公募要領を必ず確認してください。申請書の記述内容について注意事項があります。

注２．Ⅰ～Ⅱのチェックリストを申請者自らチェックしてください。確認後、□欄にレ点を記述し、申請書一式とともに提出してください。

注３．申請書は、添付書類を含め、全てＡ４サイズとしてください。既存資料を使用する場合で  
Ａ４サイズ以外の大きさの資料は全てA４サイズに統一してください。

注４．正１部は片面印刷とし、写し５部は両面印刷としてください。

***注５．各部（正１部、写し５部）ごとに左上をダブルクリップで止めてください（ホッチキス等で綴じたり、製本したりしないでください）。また、全てに縦２穴パンチ穴をあけてください。***

***注６．申請書の項目を変更・削除しないでください。（ただし、本ページを含む削除指示のあるページ及び次ページ以降青字イタリック体で記載されている申請書の注意事項及び記述例は、削除してください）***

***注７．特に指定のない場合は、項目間の行間は、適宜変更してください。***

***注８．記述に際しては、簡潔明瞭を旨とし、申請書のボリュームが大きくならないよう配慮してください。***

***注９．申請書の作成にあたり記述上の注意（青字イタリック体部分）をよく読んでください。また、各項目の記述上のポイントにはアンダーラインを付けていますので、これに沿って申請書を作成してください。***

***注10．年月は西暦にて記述してください。***

***注11．採択決定後（2019年10月下旬予定）、金額精査等必要な調整を行ったのち、交付規定で定める様式第一により助成金交付申請をしていただきます。***

***（提出にあたって、本ページは削除してください）***

**Ⅰ．申請書提出のためのチェックリスト（要提出）**

**１．申請書(正) 　□１部（片面印刷）**

□1) 申請書提出のためのチェックリスト

□2） 申請書類受理票

□3)　申請書（表紙、本文（項目１～項目４）） (別添１)

　　　※ 申請書(表紙)に、申請者の印又はサインがあること

□4)　Tech系シード・アーリー期のスタートアップへのリード投資案件表 (別添２)

□5)　補助金取得一覧 (別添３)

□6)　本事業に関与するメンバーの略歴 (別添４)

□7) 既存資料一覧 (別添５)

□8) 会社定款 (既存資料１)

□9)　ファンドの目論見書、又は投資の概要説明書等に関する資料 (既存資料２)

□10) その他既存資料一式 (既存資料３以降)

□11) 倫理綱領 (別添６)

□12) 利害関係の確認について (別添７)

**２．申請書の写し** 　**□５部（両面印刷）**

□3)　申請書（表紙、本文（項目１～項目４）） (別添１)

※ 申請書(表紙)に、申請者の印又はサインがあるものの写しであること

□4)　Tech系シード・アーリー期のスタートアップへのリード投資案件表 (別添２)

□5)　補助金取得一覧 (別添３)

□6)　本事業に関与するメンバーの略歴 (別添４)

□7)　既存資料一覧 (別添５)

□8) 会社定款 (既存資料１)

□9)　ファンドの目論見書、又は投資の概要説明書等に関する資料 (既存資料２)

□10) その他既存資料一式 (既存資料３以降)

**３．CD-R** **□１枚**

□Ⅱ.ＣＤ－Ｒへの格納データに係るチェックリストにある電子ファイルを格納し、  
　ラベルに事業者名を記述

**４．返信用封筒**（申請書類受理票の返信用） **□１枚**

□連絡先住所、宛名を記述した返信用封筒『定形：長形３号』（８４円切手を貼付）

**Ⅱ．ＣＤ－Ｒへの格納データに係るチェックリスト（要提出）**

□申請書チェックリスト：3～7)　(別添１～別添５)(PDF)

　　ファイル名：VC20\_事業者名(略称可)\_申請書.pdf

□申請書チェックリスト：3～7)　(別添１～別添５)(word)

　　ファイル名：VC20\_事業者名(略称可)\_申請書.docx

□申請書チェックリスト：8)　(既存資料１)（PDF）

ファイル名：VC20\_事業者名(略称可)\_既存資料1.pdf

□申請書チェックリスト：9)　(既存資料２)（PDF）

ファイル名：VC20\_事業者名(略称可)\_既存資料2.pdf

□申請書チェックリスト：10)　(既存資料３以降一式）（PDF）

ファイル名：VC20\_事業者名(略称可)\_既存資料3以降一式.pdf

※ 既存資料３以降一式を、一つのファイルにまとめてください。

申請書類受理票

申請書類受理票（NEDO控）

申請書類受理番号(NEDO記述)：　　　　　　　　

「研究開発型ベンチャー支援事業／ベンチャーキャピタル等の認定」に係る申請書

2020年月日

申請者名称：***○○○○○***

受領書類はチェックリストに記載の通り。

割　　印

-----------切り取り-----------　　　　　　　　　-----------切り取り-----------

申請書類受理番号(NEDO記述)：

「研究開発型ベンチャー支援事業／ベンチャーキャピタル等の認定」に係る申請書

申請書類受理票（申請者控）

2020年月日

申請者名称：***○○○○○***

　担当者名 　　　 殿

標記申請書類を受理いたしました。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

　　　　　　　　　　　　　　　　　　イノベーション推進部

（別添１）　表　紙

2020年***○○***月***○○***日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

理事長　　殿

代表申請者　〒 ***住所***

***名称***

***代表者　役職・氏名***

***印（又はサイン）***

**「研究開発型ベンチャー支援事業／ベンチャーキャピタル等の認定」**

**に係わる申請書**

標記の件について、「研究開発型ベンチャー支援事業／ベンチャーキャピタル等の認定」に係る公募要領の様式に従い申請します。

なお、公募要領の全ての記載事項について十分理解するとともに、Ⅱ．３．応募要件・努力義務等の記載事項の各項を満たし、遵守します。

（別添１）　本文

項目１：法人の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 会社概要 | 法人名 |  |
| 法人番号 |  |
| 代表者名 |  |
| 法人住所 |  |
| 設立年月日 |  |
| 従業員数 |  |
| 法人URL |  |
| 事務連絡先 | 氏名 |  |
| 住所 |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |
| 会社組織図 |  | ***(役職、担当する分野・役割等)***  ***(ハンズオンメンバーがわかる様記述のこと)***  ***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)*** |
| 株主名簿 |  | ***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)*** |
| トラック レコード | 過去のファンド運用実績に関するIRR 計算資料 | ***(Tech系シード・アーリー期のスタートアップ投資を含むファンドでクローズしたものがある場合。多数ある場合は、直近の1つのファンドで可（希望があれば複数提出も可）)***  ***(参考：シード・アーリー期の定義)***  ***(・シード期：商業的事業がまだ完全に立ち上がっておらず、研究及び製品開発を継続している企業ステージ)***  ***(・アーリー期：製品開発及び初期マーケッティング、製造及び販売活動を始めた企業ステージ)***  ***(VEC ベンチャー白書2019より引用)***  ***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)*** |
| 国内VC市場における地位・実績  (2018年1月以降) | シード投資額・件数 |  |
| シード投資のうち リード投資額・件数 |  |
| シード投資のうち Tech系への投資額・件数 |  |
| シード投資比率 |  |
| アーリー投資額・件数 |  |
| アーリー投資のうち リード投資額・件数 |  |
| アーリー投資のうち Tech系への投資額・件数 |  |
| アーリー投資比率 |  |
| 補足説明 | ***(自由記述)***  ***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)*** |

***※ 記述欄内の青字イタリック体の記述例や注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。***

***※ 本項目は、A4で1～２枚程度を目安としてください。***

項目２：ソーシング能力

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Tech系シード・アーリー期のスタートアップの事業化支援に関する日本国内での事業計画  ※ 2018年1月以降で6件以上Tech系シード・アーリー期のスタートアップへのリード投資実績(ただし、内4件以上はシード期の案件であること）がある場合、その投資案件について(別添２)を追加資料とすることで省略可。 | 投資活動計画 | ***(自由記述)***  ***(特にシード期の案件を中心に記述のこと)***  ***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)***  ***(参考：シード・アーリー期の定義)***  ***(・シード期：商業的事業がまだ完全に立ち上がっておらず、研究及び製品開発を継続している企業ステージ)***  ***(・アーリー期：製品開発及び初期マーケッティング、製造及び販売活動を始めた企業ステージ)***  ***(VEC ベンチャー白書2019より引用)*** |
| 案件発掘活動 | ***(自由記述)***  ***(特にシード期の案件を中心に記述のこと)***  ***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)*** |
| 検討中案件数 | ***(特にシード期の案件を中心に記述のこと)*** |
| 検討中案件内容 | ***(自由記述)***  ***(特にシード期の案件を中心に記述のこと)***  ***(代表的案件の検討状況、事業内容の記述は求めない)***  ***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)*** |

***※ 記述欄内の青字イタリック体の記述例や注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。***

***※ 本項目は、A4で１～２枚程度を目安としてください。***

項目３：ハンズオン能力

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| GPとしてのハンズオン体制 | ***(自由記述)***  ***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)***  ***(記述例)***  ***ハンズオン方針***  ***・月次での把握事項(共通事項)及びフィードバック***  ***・不定期でのハンズオン***  ***どのようなリソースやネットワークで、どんなハンズオンを実施しているか***  ***人材獲得、顧客紹介、事業パートナー紹介、次期ファンドレイズへの協力、 その他)***  ***グローバル展開支援体制***  ***・次の資金調達候補となり得る国内外のVC、事業会社とのパイプの太さ***  ***知財支援体制***  ***・知財戦略とサポート体制***  ***等*** | |
| ハンズオンメンバー | ハンズオンメンバー1名あたりの平均案件数 |  |
| メンバー略歴 | * 別添４の略歴フォームに、メンバーごとに記述のこと。   ***(ＣＶ添付等既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)*** |

***※ 記述欄内の青字イタリック体の記述例や注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。***

***※ 本項目は、A4で１～２枚程度を目安としてください。***

項目４：資金調達への対応力

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Tech系シード・アーリー期のスタートアップ出資に活用予定のファンドに関する情報  (ファンドごとに) | ファンド名 |  |
| ファンド規模 |  |
| 対象投資領域 | ***(技術領域、ステージ、1案件ごとの投資規模等)*** |
| ファンド開始/終了/運用期間 |  |
| その他ファンド情報 | ***(自由記述)***  ***その他、下記項目を参考に、ファンド情報を記述のこと***  ***ファンド目的（ファイナンシャル or ストラテジック等）、シード投資可能金額、アーリー投資可能金額、申請時点でのシード投資余力(額)、アーリー投資余力(額)、投資検討プロセス（投資決定時に重視する項目）、ファンドへの投資家層の構成 等***  ***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)***  ***(参考：シード・アーリー期の定義)***  ***(・シード期：商業的事業がまだ完全に立ち上がっておらず、研究及び製品開発を継続している企業ステージ)***  ***(・アーリー期：製品開発及び初期マーケッティング、製造及び販売活動を始めた企業ステージ)***  ***(VEC ベンチャー白書2019より引用)*** |
| 今後のファンドレイズの予定と進捗 |  | ***(自由記述)***  ***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)*** |

***※ 記述欄内の青字の記述例や注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。***

***※ 本項目は、ファンドごとにA4を１枚程度を目安としてください。***

（別添２）　Tech系シード・アーリー期のスタートアップへのリード投資案件表

2018年1月以降で　6件以上のTech系シード・アーリー期へのリード投資実績（ただし、内4件以上はシード期の案件であること）がある場合は、下記一覧に記述ください。なお、その場合は「項目２：ソーシング能力」の全項目の記述は不要です。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 投資先企業名 | 投資ステージ | 投資時期 | 投資額 | 備考 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（時期：西暦、金額：百万円単位）

(参考：シード・アーリー期の定義

・シード期　：商業的事業がまだ完全に立ち上がっておらず、研究及び製品開発を継続している

企業ステージ

・アーリー期：製品開発及び初期マーケッティング、製造及び販売活動を始めた企業ステージ

VEC ベンチャー白書2019より引用)

（別添３）補助金取得一覧

Tech系シード・アーリー期のスタートアップへのリード投資先におけるスタートアップの直近2年間(2018年1月以降）のSTS事業以外の補助金取得実績について記述ください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 投資先名 | 投資時期 /金額 | 補助金 団体 | 事業名 | 概要（時期、金額など含む） |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（時期：西暦、金額：百万円単位）

(参考：シード・アーリー期の定義

・シード期　：商業的事業がまだ完全に立ち上がっておらず、研究及び製品開発

を継続している企業ステージ

・アーリー期：製品開発及び初期マーケッティング、製造及び販売活動を始め

た企業ステージ

(VEC ベンチャー白書2019より引用))

（別添４）本事業に関与するメンバーの略歴

ハンズオンメンバーごとに1枚作成ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 役職・氏名 |  | |
| 職歴 | ***(自由記述)***  ***(投資、ハンズオン経験等)***  ***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)*** | |
| 活動拠点 | 住所・拠点名称 |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |
| メンバーのこれまでの実績と今後の参画  方針 | ***(自由記述)***  ***下記観点を踏まえて、各メンバーで具体的に記述してください。***  ***・これまでの個人としての事業化支援実績***  ***（例）代表的なエグジット実績等があれば記述してください。***  ***・企業支援に対する考え方、ポリシー***  ***・得意とする領域***  ***等***  ***(既存資料で代用する場合は、本項目と「（別添５）既存資料一覧」に該当資料の参照番号、既存資料名及び参照箇所を記述のこと)*** | |

***※ 記述欄内の青字の記述例や注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。***

***※ 本項目は、メンバーごとにA4で１枚程度。本事業に関与するメンバー分、適宜増やして利用ください。***

（別添５）既存資料一覧

参照する既存資料のリストを作成ください。

「既存資料１，２」は必ず添付ください。

「既存資料３」以降は、必要に応じてその他参照する既存資料を添付ください。

なお、添付いただく既存資料には、参照番号を明記のこと。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 参照番号 | 既存資料名 | 参照個所(ページ数・行数、等)、補足 等 | NEDO チェック欄 |
| 既存資料1 | 会社定款 |  | □ |
| 既存資料2 | ファンド目論見書、又は投資の概要説明書 |  | □ |
| ***既存資料3*** | ***○○○○*** | ***(記述例)***  ***・p5、10~13行目：(補足説明)***  ***・p10、20行目：(補足説明)*** | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |
|  |  |  | □ |

***※ 記述欄内の青字の記述例や注釈を削除し、黒字の標準スタイルで記述してください。***

（別添６）倫理綱領

【研究開発型ベンチャー支援事業/シード期の研究開発型のベンチャーに対する事業化支援に係わる認定VCが遵守すべき倫理綱領について】

認定VCは、以下の倫理綱領（以下、「本綱領」といいます。）をご確認の上、同意いただける場合は「倫理綱領に同意する」にチェックを入れてください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 倫理綱領に同意する |

1. 我が国の科学技術の産業化と育成の趣旨に賛同すると共に、NEDO事業の社会的責任の重みを十分認識し、自己の利益だけを追及する行動をとらず、社会規範・倫理に沿った公正・誠実なサポーター活動（投資前のソーシング活動、及び投資後のハンズオン活動等）を通じて、社会からの信頼の確立を図ること
2. 適用される全ての国内外の法令、規則、各種指針、社会的規範等の研究不正防止その他の一切のルールを厳格に自ら遵守し、かつ相談者に対しても遵守させるように努めること
3. 日々刻々と変化する国内外の支援対象産業・科学技術への理解を深め、研鑽を怠らないこと
4. NEDO事業制度の事業化・産業育成の観点を十分に理解し、社会的名誉・信用を維持し、NEDO事業制度について第三者が誤解、困惑・不信感を抱くような内外の行動を控え、認定VCであることが当該VCのサービスに何らかの信頼を付与しているような言動は控えること
5. 相談者との間で何らかの契約を締結する場合には、情報の非対称性を利用した不当な交渉を行わず且つ不当な条項を挿入しないこと、またこれらの者の第三者への相談の機会を妨害しないこと
6. 本綱領の公表及び相談者に対する告知に協力すること
7. 相談者との間に何らかのトラブル・紛争が生じた場合、直ちにNEDOに報告し、誠実に対処すること
8. 暴力団又はこれらに準ずる者などの反社会的勢力に該当せず、かつ将来も該当しないこと、自ら又は第三者を利用して、暴力を用いる不当な要求行為、脅迫的な言動、偽計又は威力を用いて相手方の信用を毀損し又は業務を妨害する行為その他これらに準ずる行為を行わないこと
9. 上記倫理綱領の違反、NEDO事業の社会的評判や信頼を貶める可能性がある行為が発覚した場合や、そのおそれがある場合には、NEDOが行う調査等に真摯に対応すること

以上

（別添７）

利害関係の確認について

* ＮＥＤＯは、認定審査にあたり大学・研究機関・企業等の外部専門家による認定審査委員会を開催します。この認定審査委員会では公正な審査を行うことはもちろん、知り得た申請情報についても審査以外の目的に利用することを禁じております。
* さらに、認定審査委員の選定段階で、ＮＥＤＯは利害関係者を排除すべく細心の注意を払っているところですが、さらに認定審査委員本人にも事前に確認を求め、より公平・公正な審査の徹底を図ることといたしております。
* そこで、本書類を以て「申請者およびメンバーの所属と名前」を認定審査委員に提示し、自らが利害関係者、とりわけ競合関係に当たるかどうかの判断を促します。
* また、ＮＥＤＯが認定審査委員を選定する上で、留意すべき事項（特に利害関係者とお考えになる者等）があれば、下の記述欄に任意で記述いただいても構いません。なお、認定審査委員から、利害関係の有無の判断がつかないとのコメントがあった場合には、追加情報の提供をお願いする場合がございますので、ご協力をお願いいたします。

|  |
| --- |
| ***原則、同業他社となる投資家等を審査委員には含めませんが、利害関係の観点からＮＥＤＯで留意すべき事項があれば記述してください。無い場合には、『特に無し』と記述し、提出してください。*** |

以上